

岩手県感染症週報

平成27年第1週(12月29日～1月4日)

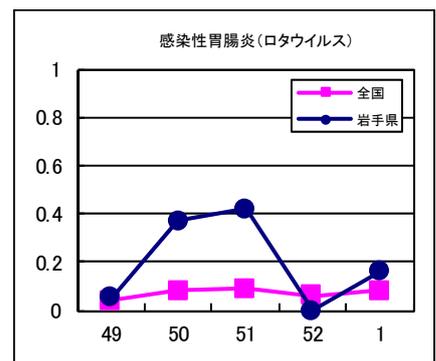
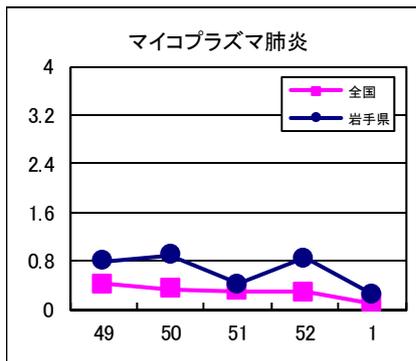
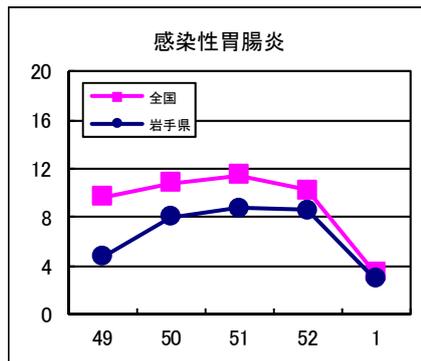
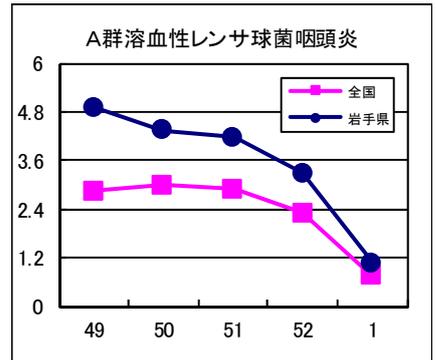
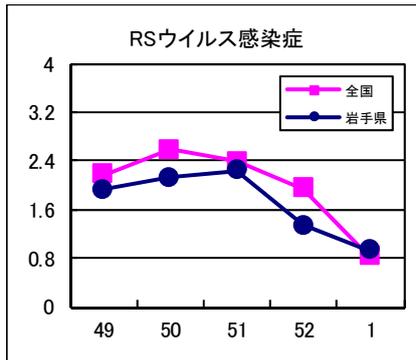
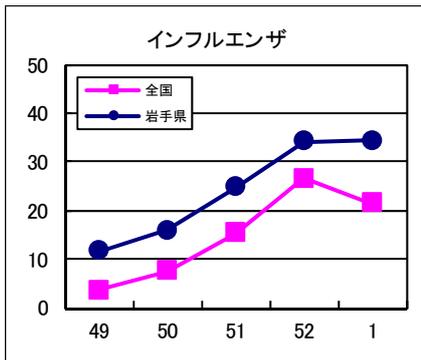
岩手県感染症情報センター

第1週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
・インフルエンザは、前週よりやや増加し、県全体で定点あたり患者数34.28人となりました。盛岡市は、66.27人と2008年以降で最も多い患者数となりました。先週まで報告の少なかった久慈地区で急増し、38.67人と警報値(30人)を超えました。このほかに中部、一関、二戸地区で警報値を超えています。この週の年齢層別では成人層が多く、約60%を占めていました。(今シーズンこれまで報告の患者では約35%)。予防には、咳・くしゃみなどの症状がある場合には咳エチケット、外出後の手洗い、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた食事をする、人混みや繁華街への外出を控える(特に高齢の方、基礎疾患のある方、妊婦等)、ワクチン接種が重要です。
- ・感染性胃腸炎は、例年より報告数が少ない状況で推移していますが、集団生活を営む保育園や老人福祉施設等では、引き続き、感染予防対策の徹底が必要です。予防には、流水と石けんによる手洗いと患者の汚物の適切な処理、食品の十分な加熱が重要です。
- ・RSウイルス感染症は、2週続けて減少しましたが、例年より報告数の多い状況が続いています。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが異なることに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		49	50	51	52	1		
インフルエンザ	岩手県	11.55	15.78	24.73	34.17	34.28	↗	☆☆☆
	全国	3.49	7.38	15.17	26.63	21.46		
RSウイルス感染症	岩手県	1.93	2.13	2.23	1.33	0.93	→	☆
	全国	2.18	2.59	2.38	1.95	0.82		
咽頭結膜熱	岩手県	0.38	0.75	0.58	0.4	0.13	→	☆
	全国	0.62	0.66	0.65	0.55	0.21		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	4.9	4.35	4.18	3.28	1.08	→	☆
	全国	2.83	2.99	2.89	2.31	0.74		
感染性胃腸炎	岩手県	4.7	8.03	8.78	8.6	2.9	→	☆
	全国	9.63	10.8	11.49	10.26	3.47		
水痘	岩手県	1.55	0.6	2.05	0.75	0.93	→	☆
	全国	1.22	1.25	1.26	1.09	0.57		
手足口病	岩手県	0.28	0.2	0.03	0.03	0	→	
	全国	0.74	0.78	0.7	0.58	0.15		
伝染性紅斑	岩手県	0.4	0.93	0.38	0.55	0.25	→	☆
	全国	0.33	0.42	0.36	0.32	0.1		
突発性発疹	岩手県	0.58	0.5	0.4	0.43	0.13	→	☆
	全国	0.51	0.48	0.44	0.39	0.15		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0.03	0.03	0	→	
	全国	0.09	0.07	0.06	0.05	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.25	0.08	0.15	0.15	0.05	→	
	全国	0.33	0.3	0.32	0.31	0.14		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
流行性角結膜炎	岩手県	0.5	0.36	0.64	0.86	0.64	→	☆
	全国	0.6	0.6	0.54	0.54	0.22		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.01	0.01		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.79	0.89	0.42	0.84	0.26	→	☆
	全国	0.42	0.33	0.31	0.28	0.11		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.02	0		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.05	0.37	0.42	0	0.16	→	☆
	全国	0.04	0.08	0.09	0.06	0.08		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	14	18	32	41			
	全国	112	173	379	716	1,106		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
2013年10週より対象疾患になりました。 (患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		49	50	51	52	1	累計	1	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	1 (0)	11 (5)	4 (0)	12 (6)	0	0 (0)	53	53
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	1
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	4	4
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	1
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	3	3
	デング熱	0	1	0	0	0	0	1	1
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	1	0	0	12	12
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、水痘 (入院例)、播種性クリプトコックス症、薬剤耐性アシネトバクター感染症が2014年第38週より報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県					全国		
		49	50	51	52	1	累計	1	累計
五類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	3	3
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	0	5	5
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	4	4
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	2
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	22	22
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	0	1	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	2	2
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	1	1
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	0	0	1	0	0	0	0	0
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
指 定	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

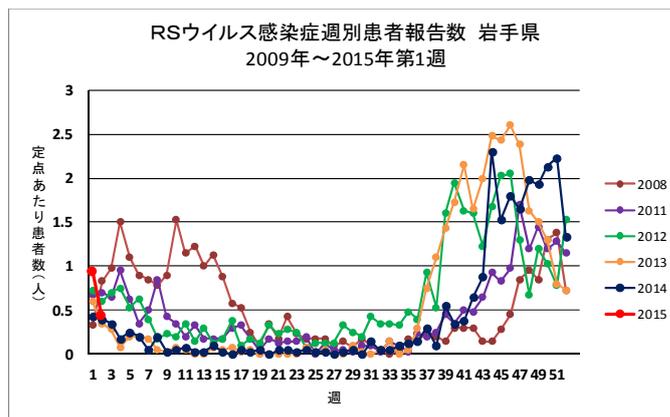
今注目の感染症

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルス (respiratory syncytial virus) を原因とする呼吸器感染症です。終生免疫は獲得されず、年齢を問わず生涯にわたり顕性感染を繰り返し、生後1歳までに半数以上の児が、2歳までにはほぼ100%の児が初感染を受けるとされています。症状は、軽い風邪の症状から重い肺炎までいろいろです。初めて感染した場合には、肺炎や細気管支炎など重篤な症状を起こす場合があります。無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳症なども注意すべき合併症です。また、高齢者においても急性のしばしば重症の下気道炎を起こすことが知られています。盛岡市でも、12月に、高齢者の施設で、集団感染事例が発生しています。

例年、冬期に発生のピークが見られますが、2012、2013年は9月上旬から報告数が増加し始めました。今年も、第42週 (10月中旬) から報告数が増加し始め、第44週に大きく増加しました。第45週には減少しましたが、第45週以降も、報告数の高い状況が続いています。今後の発生の動向に注意が必要です。

RSウイルス感染症に関するQ&A http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html



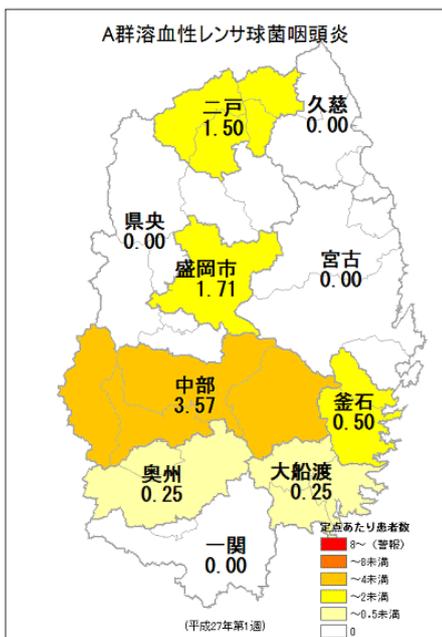
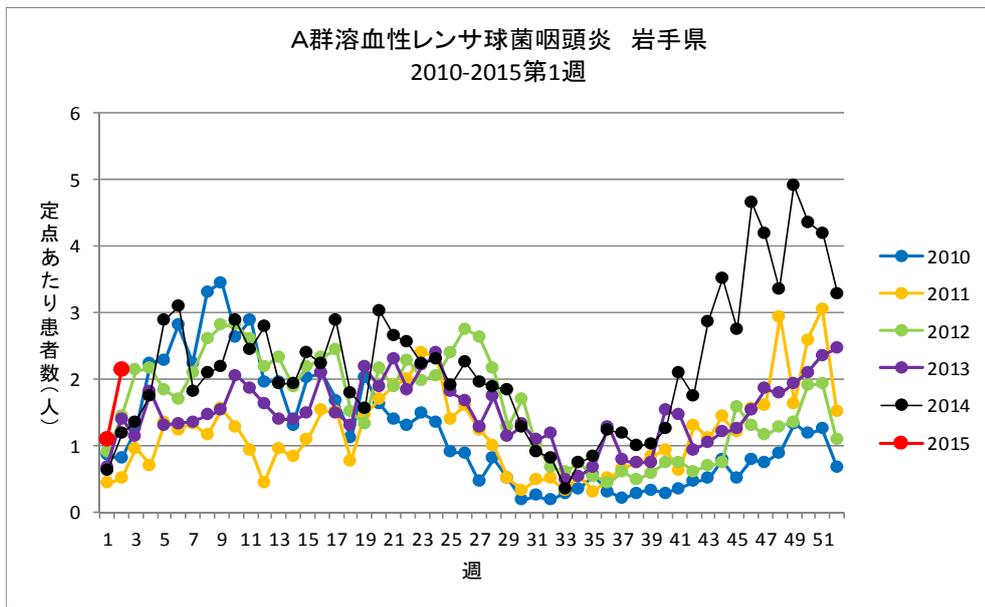
今注目の感染症 (つづき)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

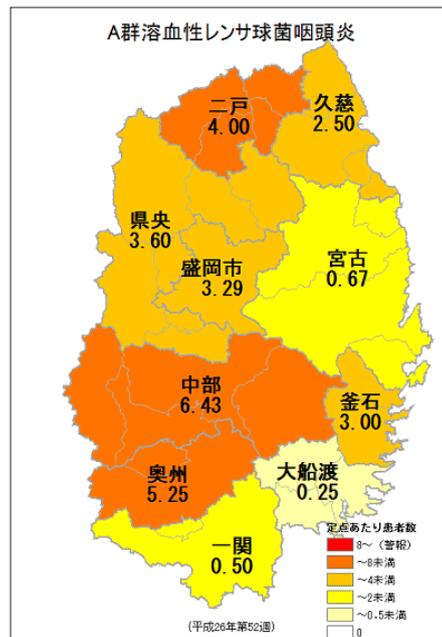
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による急性咽頭炎です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、体幹に発疹を伴うことがあります。感染後急性腎炎を併発することがあるので7～10日間の抗菌薬内服が必要です。予後良好の疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫がない場合には猩紅熱に発展する場合があります。

予防には、患者との濃厚接触を避けることが最も重要で、うがいや手洗いなどの励行、マスクを用いた咳エチケットも重要です。

岩手県での発生状況ですが、例年、冬と、春から初夏にかけて2つ報告数のピークがあります。2014年は、11月中旬から患者報告数が大きく増加しています。第49週は、平成11年以降で一番報告数が多くなりました(下図)。



第1週



第52週

今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

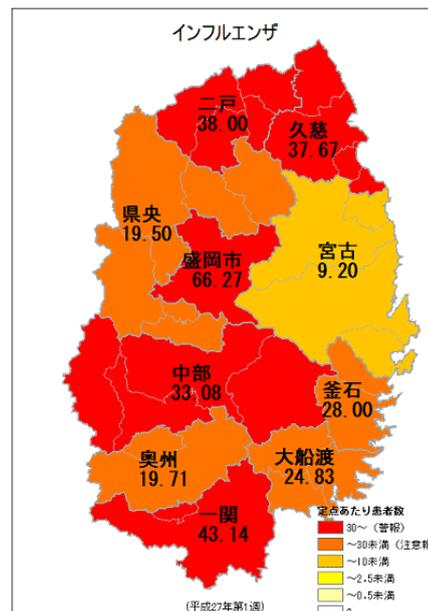
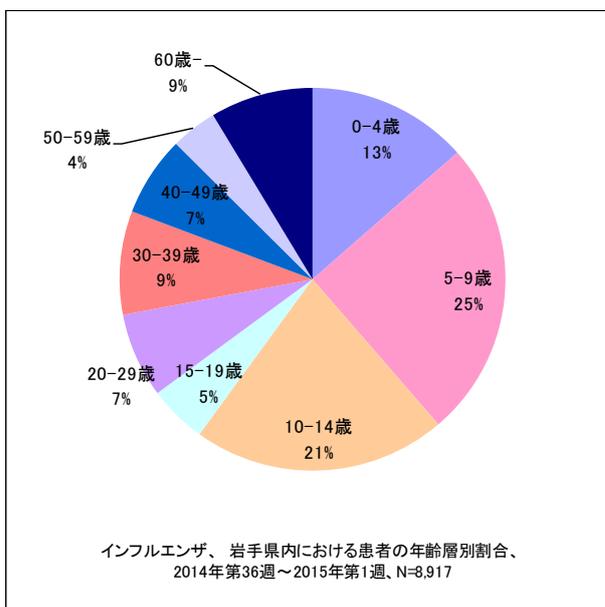
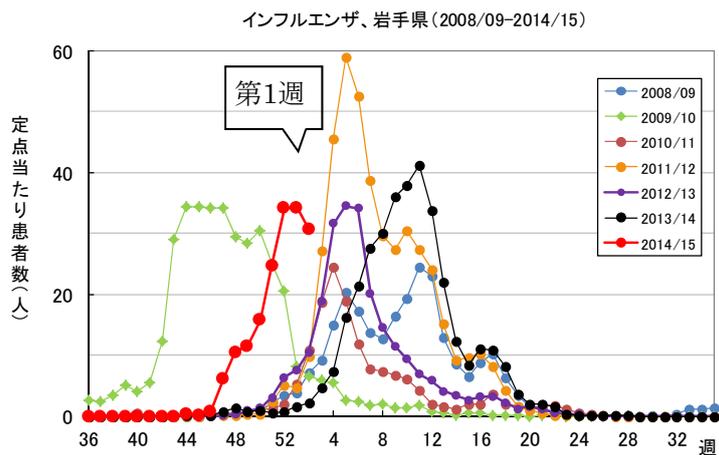
インフルエンザは、第52週に県全体で定点あたり患者数34.17人と警報値(30人)を超え、警報が発令されました。第1週は、医療機関の年末年始の休業がありました。34.28人と第52週よりやや増加しました。地区別では盛岡市、中部、一関、久慈および二戸の5地区で警報値を超え、県央、奥州、大船渡および釜石の4地区で注意報値(10人)を超えています。

これまで報告された患者の年齢層別は、5～14歳が46%と小中学生が多くを占めています。次いで、0～4歳が13%、30～39歳と60歳以上が9%となっています。また学校等休業措置は、1月5日までに134件報告されています。(昨シーズン6件)

インフルエンザの症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。かかったかなと感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。発病後5～7日間はウイルスが排出されると言われており、熱が下がってもすぐに登校(出勤)しない、咳やくしゃみがあるときはマスクをするなど、他の人への感染を防ぐことも重要です。

予防には、なるべく人混みを避ける、ワクチン接種、帰宅時の手洗い、咳エチケット(咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出るときはマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けたときはすぐに手を洗うなど)、十分な休養と栄養をとることなどが重要です。ワクチンは接種後2週間で効果が現れることから、早めの接種が勧められます。

厚生労働省HP インフルエンザQ&A <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>



病原体検出情報

- ・ヘルペス口内炎の患者の咽頭ぬぐい液から、単純ヘルペスウイルス1型を1件検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、アデノウイルス4型を1件検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、パラインフルエンザウイルス2型を1件検出しました。
- ・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを3件、RSウイルスを3件、パラインフルエンザウイルス3型を1件、パラインフルエンザウイルス4型を1件、ヒトメタニューモウイルスを1件、それぞれ検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便から、エコーウイルス30型を1件、ライノウイルスを1件、A群コクサッキーウイルス4型を1件、それぞれ検出しました。
- ・熱性けいれんの患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペス6型を1件、ライノウイルスを1件、それぞれ検出しました。
- ・不明発疹症の患者の咽頭ぬぐい液から、EBウイルスを2件、ヒトヘルペスウイルス6型を4件、エコーウイルス7型を1件、ライノウイルスを1件、パラインフルエンザウイルス2型を1件、パラインフルエンザウイルス3型を1件、パラインフルエンザウイルス4型を2件、それぞれ検出しました。
- ・不明熱の患者の咽頭ぬぐい液から、RSウイルスを2件、ヒトヘルペスウイルス6型を2件、ヒトヘルペスウイルス7型を2件、それぞれ検出しました。

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

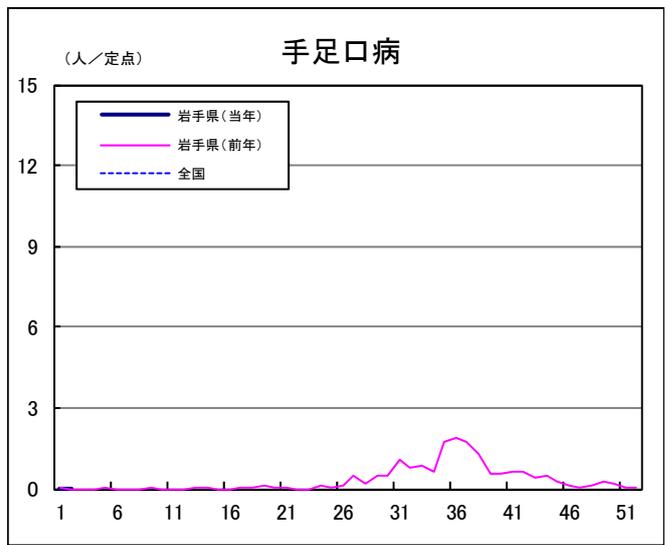
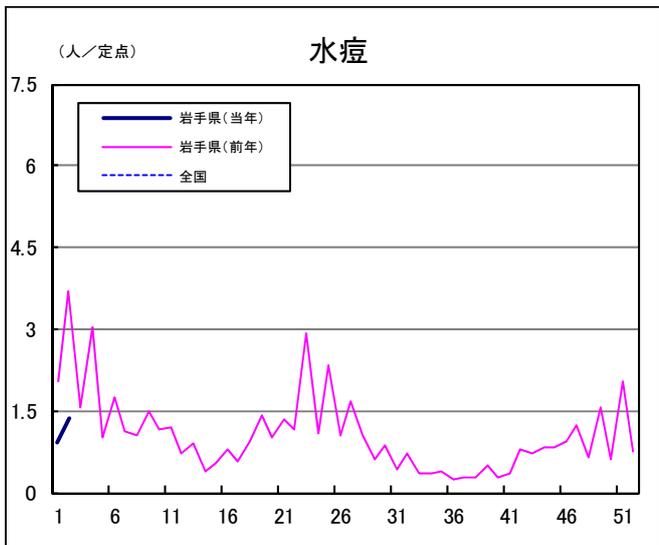
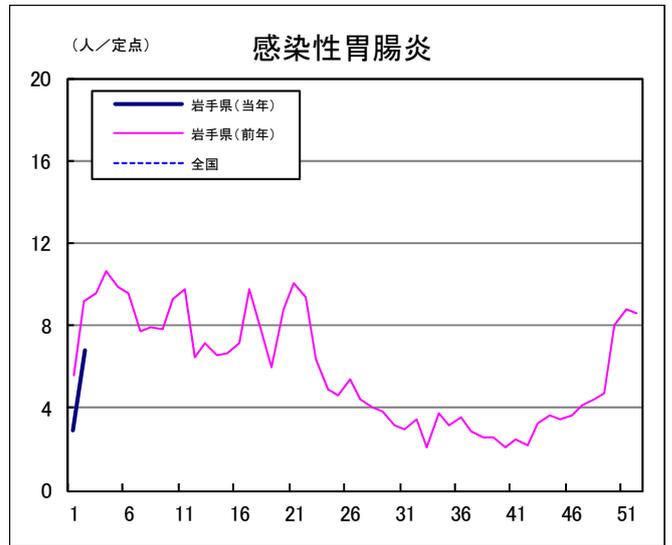
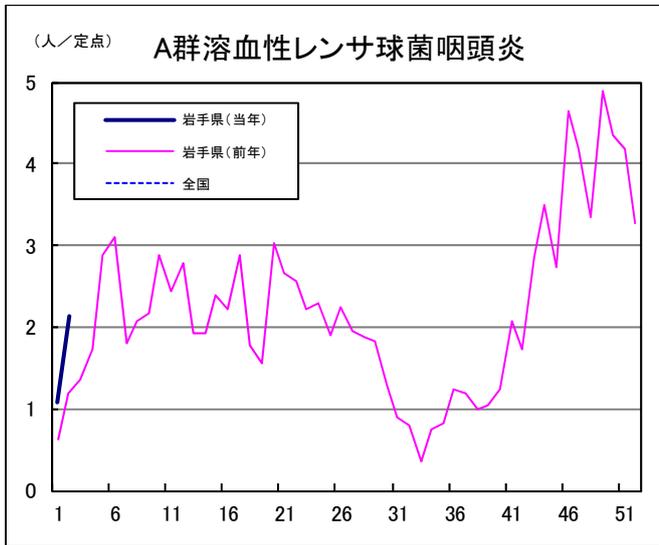
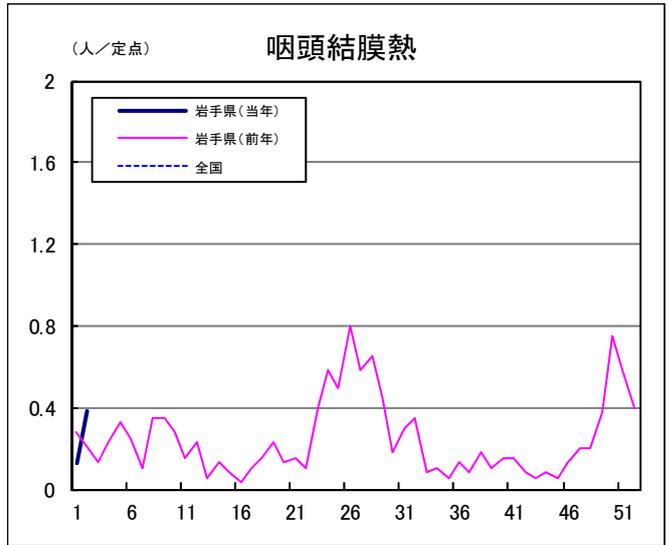
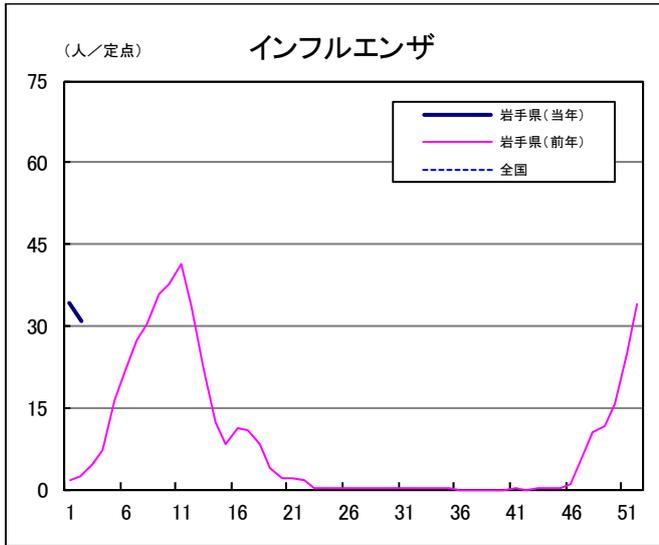
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

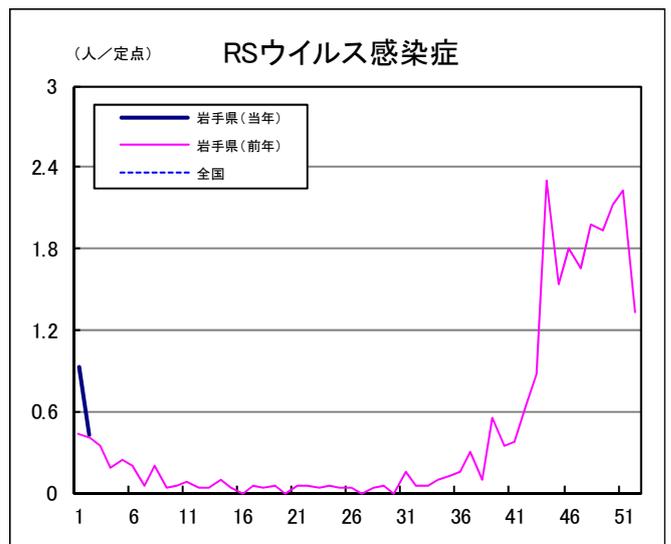
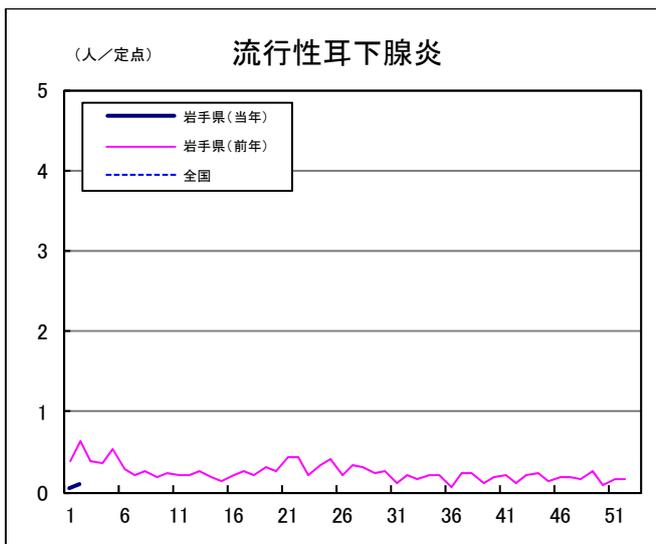
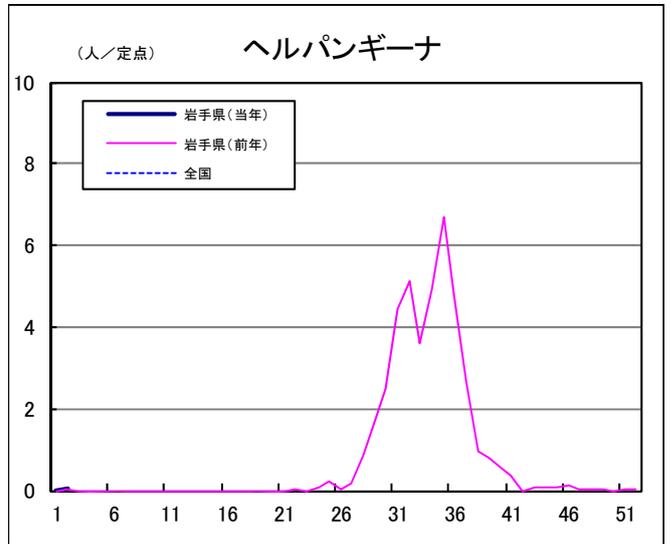
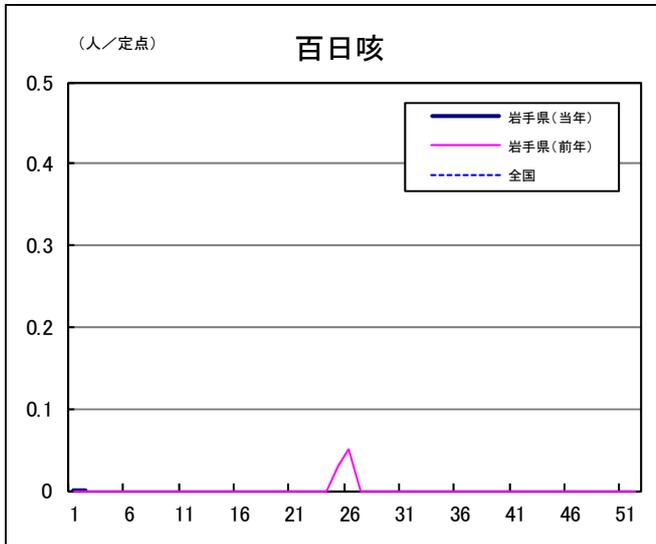
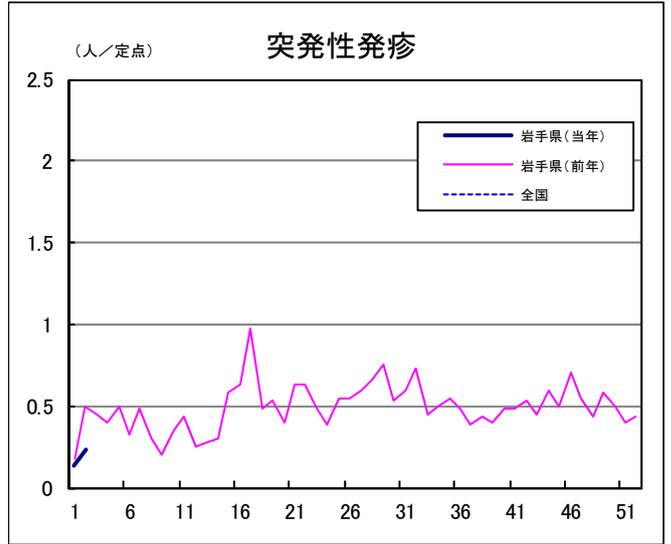
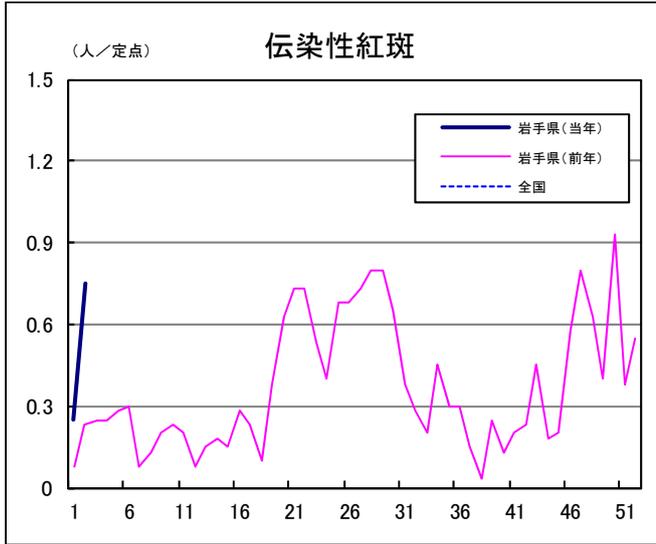
Q & A

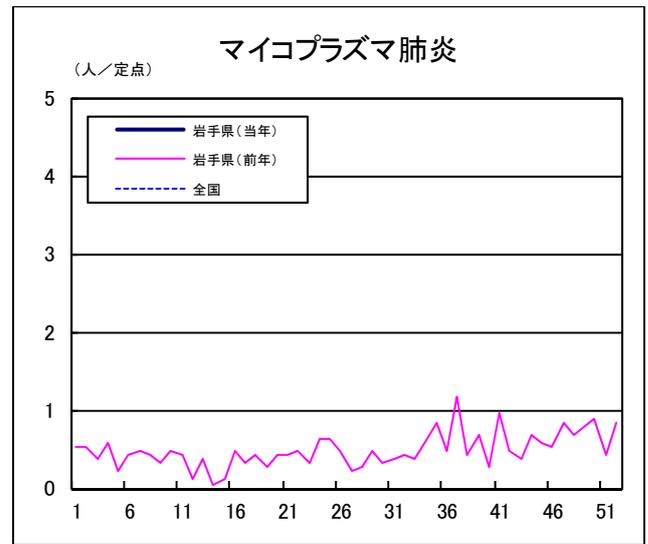
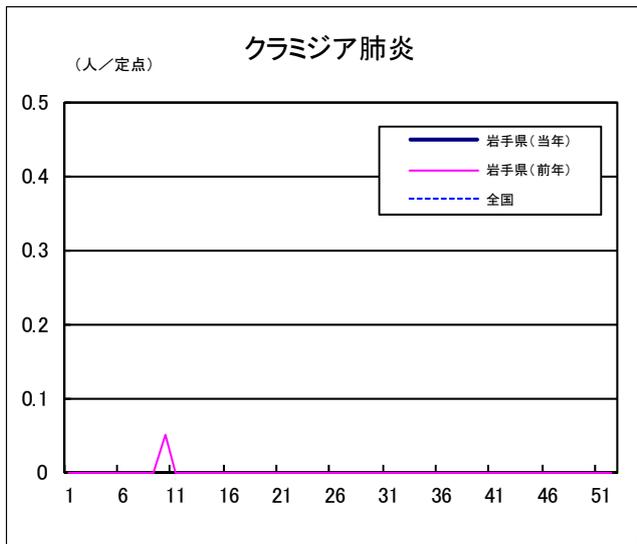
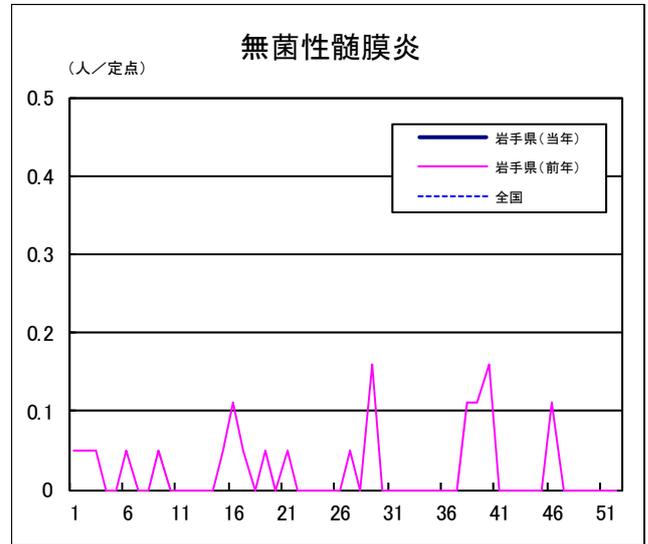
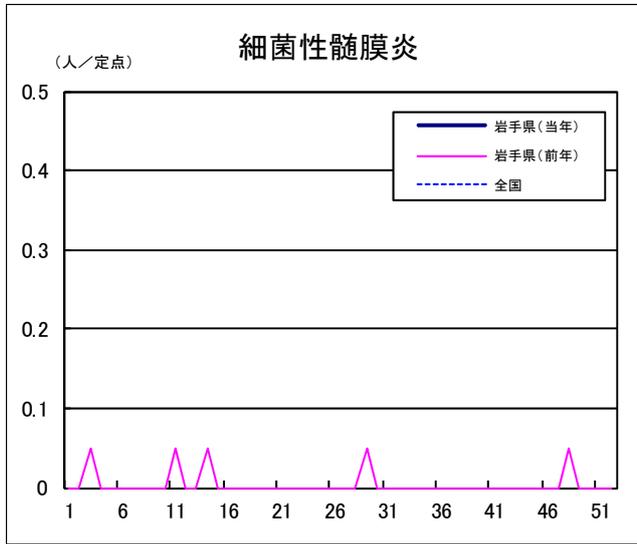
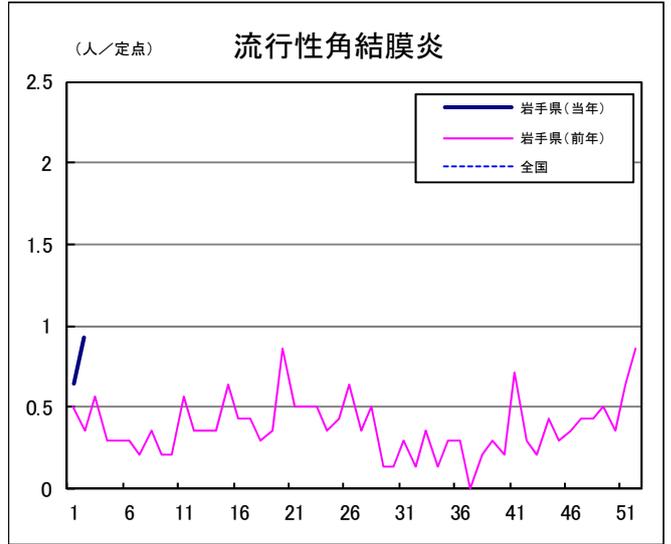
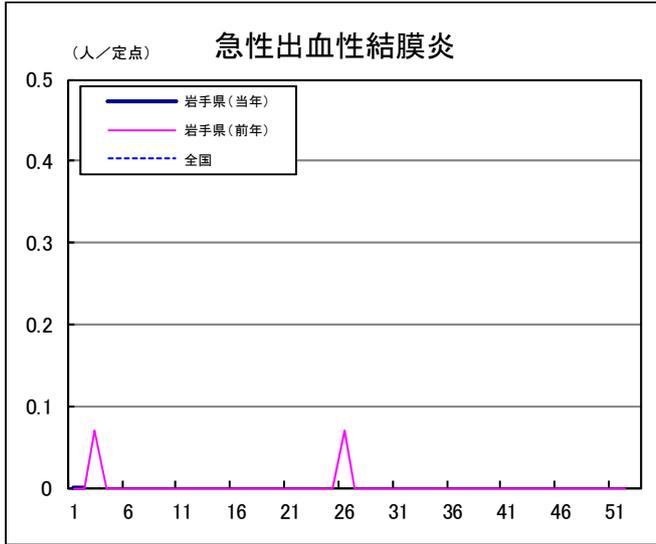
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県		65	40	14	19
盛岡市		11	7	3	5
県央		8	5	2	0
中部		12	7	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成27年第1週 平成27年1月10日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/jouhou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>